

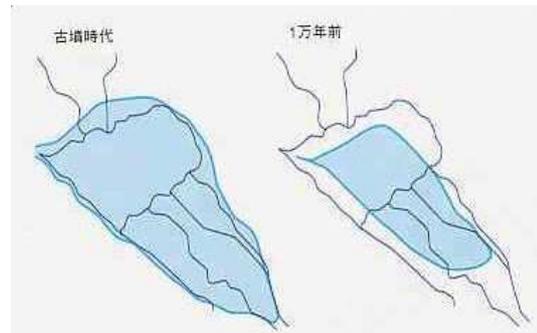
### 3. 諏訪湖の沿革

#### ● 諏訪湖のなりたち

諏訪盆地の原形は、13万年ほど前にできあがりました。諏訪湖の成り立ちは、

- ・火山活動でできた火口湖
- ・八ヶ岳噴出以前に諏訪盆地に滞水して湖をつくり富士川流域に注いでいたものが、八ヶ岳の噴火によって現在の川筋に変えられた。
- ・間氷期の雨量と流水量の増加に加え大地の変動により、塚間川の扇状地が形成され1万8千年前以降天竜川がせき止められ、諏訪湖ができた。

と諸説があります。諏訪湖は、古墳時代から平安時代にかけて最大になり、その後は減水縮小して現在に至ったと考えられています。(A)



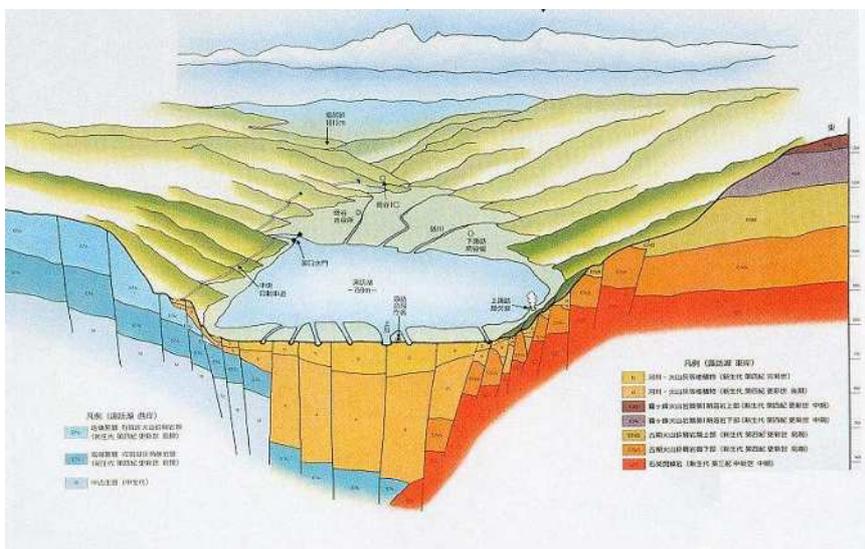
諏訪湖の形の変化

※文末のアルファベットは、参考資料を指します。これらの目録は章末に列記してあります。

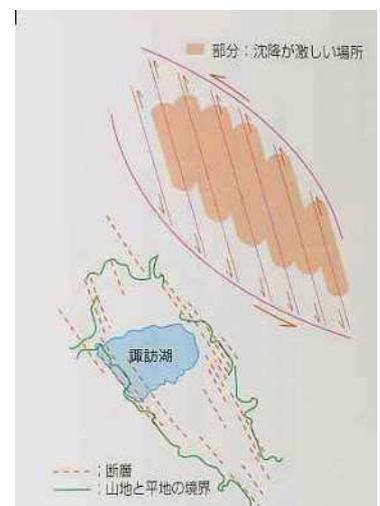
#### ● 諏訪湖の地質・地勢・気象

##### ■ 諏訪湖の地質

諏訪盆地は、フォッサマグマの海をつくった糸魚川－静岡構造線と諏訪から発し九州まで続く中央構造線が交わる地質的に複雑な所です。地表の大部分は塩嶺累層や霧ヶ峰・八ヶ岳などの火山噴出物でおおわれていますが、断層にそって湧き出る温泉、底なしと呼ばれ沈降をする土地、活断層など、その下には大小多くの断層が交錯し、今でも大地は活動を続けています。(A・C)



諏訪盆地の複雑な地質構造



諏訪盆地発生メカニズム